

## 福島第一原子力発電所 一時保管エリアP排水枡における 全ベータ値の一時的な上昇について（続報4）

< 参 考 資 料 >  
2021年7月12日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

- 7月5日、一時保管エリアP排水枡における放射能分析結果において、全ベータの値が一時的に上昇したことを受け、7月6日に当該排水枡周辺の地表面についてサーベイを行なったところ、一時保管エリアP2で廃棄物を保管するために使用しているノッチタンク周辺の地表面において、750 $\mu$ Sv/h（ガンマ+ベータ）あることを確認しました。また、7月7日、一時保管エリアP南側排水溝、および東側流入地点（上流）において全ベータの値が高いことを確認しました。
- 7月7日、当該排水枡や排水溝周辺の状況調査において、ノッチタンク2基の天板ハッチ部蓋が4箇所ずれていること、および内部と天板上に水が溜まっていることを確認したことから、7月8日内部と天板上に溜まっていた水の放射能分析を行いました。
- 分析の結果、ノッチタンク内の水については、全ベータの最大値で79,000Bq/L、ノッチタンク天板上の水で全ベータ値の最大値が71,000Bq/L（\*）であることが確認されました。また、セシウム137、セシウム134については、検出限界値未満です。  
\* ノッチタンク天板上の水としての全ベータの最大値として33,000Bq/Lから71,000Bq/Lに訂正(訂正日2021年7月14日)
- なお、同日（7月8日）、当該ノッチタンク2基について、天板上にシート養生を実施するとともに、周囲へのゼオライト土嚢の設置を実施しております。

（以上、2021年7月9日までにお知らせ済み）

## 調査状況および対策の状況について（サンプリング結果）

- 7月9日、降雨があったことから調査の一環として、一時保管エリアP周辺の水を採取し、放射能分析を行いました。
  - 【陳場沢川河口（河川部）】  
全ベータ:480Bq/L、セシウム137:360Bq/L、セシウム134 : 14Bq/L
  - 【南側排水溝排水口】  
全ベータ:1,100Bq/L、セシウム137:1,100Bq/L、セシウム134 : 41Bq/L
  - 【沈砂池】  
全ベータ: 検出限界値未満（検出限界値3.4Bq/L）、セシウム137: 検出限界値未満（検出限界値0.67Bq/L）  
セシウム134 : 検出限界値未満（検出限界値0.75Bq/L）
  - 【一時保管エリアP排水柵】  
全ベータ: 検出限界値未満（検出限界値3.4Bq/L）、セシウム137: 検出限界値未満（検出限界値0.59Bq/L）  
セシウム134 : 検出限界値未満（検出限界値0.54Bq/L）
  - 【東側流入地点（上流）】  
全ベータ:200Bq/L、セシウム137: 17Bq/L、セシウム134 : 0.77Bq/L
  - 【一時保管エリアP南側排水溝】  
全ベータ:390Bq/L、セシウム137: 48Bq/L、セシウム134 : 1.5Bq/L
- 7月7日に実施した分析結果において、全ベータ放射能濃度が高かった東側流入地点（上流）、および一時保管エリアP南側排水溝については、シート養生やゼオライト土嚢の設置、ならびに排水溝の清掃により、全ベータ放射能濃度が低下していると評価しております。
- 当該の分析結果から、陳場沢川河口（河川部）と南側排水溝排水口で確認された全ベータ放射能については、サンプリングした水は降雨に伴う土砂を含んでいること、および全ベータ放射能濃度とセシウム137の濃度が概ね等しいことから、フォールアウトに起因するものと判断しております。
- また、7月10日、11日、陳場沢川河口（河川部）の水を採取し、分析を行った結果、全ベータ、セシウム137およびセシウム134において検出限界値未満であることを確認しております。

## 調査状況および対策の状況について（ノッチタンク内・天板上の水移送）

- 7月11日、7月7日の調査で確認されているノッチタンク内部と天板上に水が溜まっていた水について、ポンプ車2台を使用し、内容物のフレコンバッグと干渉しない範囲で回収し、集中廃棄物処理施設プロセス主建屋へ同日午後2時1分に移送を完了しております。なお、移送時においては、漏えい等の異常がないことを確認しております。
- また、水を回収する際に一時的に取り外した天板上のシート養生については復旧しております。
- 引き続き、当該エリア周辺のサーベイ等、当該排水枡や排水溝の全ベータ値が一時的に上昇した原因となる汚染源の特定に向けた調査を継続して実施してまいります。



【構内図】



【水の回収後のノッチタンク（北）内の様子】



【水の回収後のノッチタンク（南）内の様子】

# <参考> 採取地点及び分析結果（7月9日採取）

陳場沢川河口（河川部） [単位：Bq/L]

採取日時	Cs-134	Cs-137	全β
7/9 8:37	14	360	480

南側排水溝排水口 [単位：Bq/L]

採取日時	Cs-134	Cs-137	全β
7/9 8:42	41	1100	1100

東側流入地点（上流） [単位：Bq/L]

採取日時	Cs-134	Cs-137	全β
7/9 9:25	0.77	17	200

沈砂池 [単位：Bq/L]

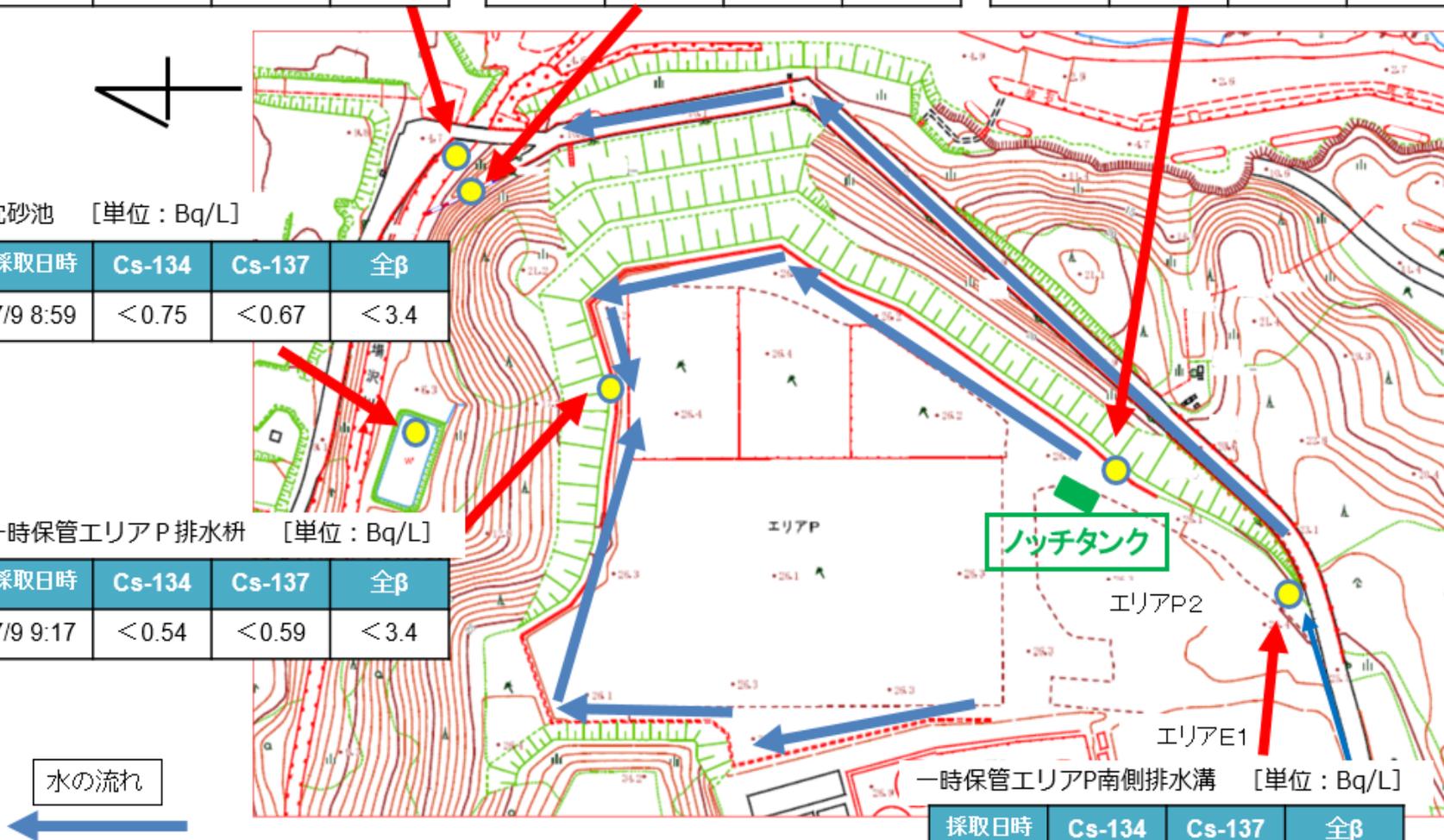
採取日時	Cs-134	Cs-137	全β
7/9 8:59	<0.75	<0.67	<3.4

一時保管エリアP排水柵 [単位：Bq/L]

採取日時	Cs-134	Cs-137	全β
7/9 9:17	<0.54	<0.59	<3.4

一時保管エリアP南側排水溝 [単位：Bq/L]

採取日時	Cs-134	Cs-137	全β
7/9 9:34	1.5	48	390



7月10日、11日に陳場沢川河口（河川部）の水を採取し、分析を行った結果、全ベータ、セシウム137およびセシウム134において検出限界値未満であることを確認